

システムエグゼ ソリューションセミナーのご案内

今、あらためて見直そう!! 特権 ID の運用と適切な管理

～ 特権 ID の不正利用を防止し、情報漏えいリスク対策から

内部統制監査にも対応したシステムの実現に向けて ～

各種法規制や社会的背景から、IT システム運用時の特権 ID の管理強化が求められています。強力な権限を持つ特権 ID は、ポリシーに則り適切に管理・運用されなければなりません。作業効率を優先させるあまり不適切な運用が行われているケースも少なくありません。

内部統制の柱のひとつである IT 全般統制におけるアクセス管理では、本番サーバーやデータベースごとにアクセス可能なユーザを限定したうえで適切なアクセス権を付与することに加え、本番サーバー・データベース上で実際に誰がどういった操作をしたかという証跡を残すことが重要となっています。

適切なアクセス管理と証跡管理は、セキュリティ侵害の防止・抑止効果のみならず、自社 IT システムが正しく運用されていることの証明、および万が一の事故発生時の早期発見と被害範囲特定・原因究明に大きな効果を発揮します。

本セミナーでは、企業の重要な情報資産に対して特権 ID を含めたアクセスの効率的かつ効果的な制御と、抜けの無い操作ログ取得の実現による監査のポイントをご紹介します。

主 催	株式会社システムエグゼ
協 賛	日本 CA 株式会社
開催日時	2010 年 9 月 14 日 (火) 14:45～16:40 (受付開始 14:30～)
会 場	東京国際フォーラム G607 会議室 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 アクセスマップ : http://www.t-i-forum.co.jp/function/map/index.html
費 用	無料
定 員	20 名

- ◆ お問い合わせ TEL. 03-5542-5592 (エグゼグループ イベント/セミナー事務局)
- ◆ お申し込み

<http://www.system-exe.com/seminar.html>

セミナー詳細は裏面をご覧ください。

セミナー内容のご案内

Session1 14:45～15:30 (45 分間)

「特権 ID のアクセス管理」～本当に必要なログはコレ！～

昨今、個人情報保護法や日本版 SOX、または安全対策基準など様々な法規制でアクセス制御やログの取得が求められていますが、各企業にとってこれらコンプライアンスにおける実際の目的とは何でしょうか？

それは「問題が発生しないように対策する事」+「問題が発生した後にすぐに原因を調査できる事」になります。

特に、特権 ID である root や Administrator を複数のユーザが共有で使用している場合、「誰が」と言う部分の追跡が非常に難しくなります。

本セッションでは、特権ユーザアクセス管理のトータルソリューションである「CA Access Control Premium Edition」を用い、特権 ID を共有で使用しているケースにおいて、監査に必要な特権 ID のアクセス制御とログの取得方法をご紹介します。

講師：日本 CA 株式会社

休憩 15:30～15:40 (10 分間)

Session2 15:40～16:25 (45 分間)

特権 ID の操作も見逃さない！ データベース監査ログはこう見る!! 抑止・発見・分析・証明、データベース監査のポイント

企業・組織の IT 資産の根幹である重要情報が蓄積されたデータベースにおいてそのアクセス・操作記録（監査ログ）保存の重要性の認識は高まってまいりました。しかしながら、ログを保存しただけでは重要情報のセキュリティ対策としては不十分です。取得したログから必要な情報を抽出し、適切な角度から分析することで、監査ログははじめて効果を発揮します。本セッションでは、データベース監査ソリューション「SSDB 監査」をもとに、データベースの監査ログの運用管理の課題から、その活用方法について実演を交えて紹介します。

講師：株式会社システムエグゼ

質疑応答 16:25～16:40 (15 分間)

- プログラム内容や開催日時等は、都合により変更する場合がございます。
- 参加申込数が定員を超過した場合はお断りさせていただく場合がございます。
- 競合他社様、本人確認が取れない場合はお断りさせていただく場合がございます。
- お申込みを確認後、事務局より受付完了メールをお送りいたします。
- セミナー当日は受付完了メールのプリントアウトと、受付にてお名刺を頂戴しておりますのでご用意をお願いいたします。